



楽しんだね 夏まつり

村特別養護老人ホーム「うねとり荘」（斉藤正明施設長、入所者60人）で8月6日、夏まつりが行われました。

昨年は途中小雨がぱらついたこともあり、今年は時間を繰り上げ午後4時から開催。晴天に恵まれた

同施設内の会場には、入所者の家族や関係者などたくさんの方々が訪れました。会場内にはかき氷や綿あめなどの出店も並び、浴衣姿の子どもたちも大喜び。中学生や高校生のボランティアも準備などに大活躍でした。最後は全員で盆踊り。（写真）入所者の皆さんは楽しい夏のひとときを過ごしたようです。



安全願いミラー清掃

岩手県交通安全協会普代分会（太田岩蔵会長）では、今年も交通安全運動の一環として8月7日、太田会長ら会員7人で村内のカーブミラーの清掃奉仕を行いました。

会員の皆さんはトラックに脚立を積んで普代駅を出発。4コースに分かれて、村内に設置されている約150カ所のカーブミラーの汚れを丁寧に落としていました。（写真）太田会長は「夏の交通安全週間とお盆の帰省の前に行っています。皆さん事故に注意し、安全運転をお願いします」と話していました。

平和誓う60年目の夏

太平洋戦争から60年の節目の夏、村戦没者追悼祈願祭が8月5日、英霊塔前で行われました。

当日は30度を超す暑さの中でしたが、式には遺族の方々など約60人が出席。不戦と平和を誓い合いました。村遺族会の中野ミヨ会長が「戦後60年と簡単に言いますが、顧みますと長く苦しい年月で、いろいろなことがありました。平和な日本を築くため、声なき声にお応えすることを誓います」と追悼の言葉を述べ、時折ハンカチで涙をぬぐう場面もありました。引き続き、参加者全員が焼香し（写真）犠牲者100人のめい福を祈りました。

